

衆議院第七十九回帝國議會所得稅法中改正法律案外十七件委員會議錄(速記)第七回

田万	清臣君	村上紋四郎君
森	肇君	山本 芳治君
豐田	豊吉君	田川大吉郎君
百瀨	渡君	加藤 鯛一君
出席政 府委員左ノ如シ		
内務省地方局長	成田 一郎君	
内務書記官	小林 千秋君	
大藏省主税局長	松隈 秀雄君	
大藏書記官	池田 勇人君	
大藏書記官	平田敬一郎君	
日本ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ		
所得稅法中改正法律案(政府提出)		
法人稅法中改正法律案(政府提出)		
出席委員左ノ如シ		
委員長 晟 正憲君		
理事川崎末五郎君 理事坂田 道男君		
理事河野 密君 理事松永 義雄君		
石坂 養平君 伊藤 五郎君		
宇賀 四郎君 小川郷太郎君		
小高長三郎君 小野 謙一君		
岡本實太郎君 藤本 捎助君		
金澤 正雄君 森田 福市君		
佐竹 晴記君 篠原 陸朗君		
和十七年一月三十日(金曜日)午前十時三 出席委員左ノ如シ		
分開議 會議		

(政府提出)  
所得稅法人稅內外地關涉法中改正法律案  
相續稅法中改正法律案(政府提出)  
織物消費稅法中改正法律案(政府提出)  
物品稅法中改正法律案(政府提出)  
電氣瓦斯稅法案(政府提出)  
廣告稅法案(政府提出)  
馬券稅法案(政府提出)  
印紙稅法中改正法律案(政府提出)  
臨時利得稅法中改正法律案(政府提出)  
特別法人稅法中改正法律案(政府提出)  
營業稅法中改正法律案(政府提出)  
臨時租稅措置法中改正法律案(政府提出)

付託議案	所得稅法中改正法律案（政府提出）
(第一二〇號)	法人稅法中改正法律案（政府提出）
(第二一號)	所得稅法（法人稅内外地關涉法中改正法律案（政府提出）
(第二二號)	相續稅法中改正法律案（政府提出）
(第二三號)	鐵道消費稅法中改正法律案（政府提出）
(第二四號)	提出（第二四號）
(第二五號)	物品稅法中改正法律案（政府提出）
(第二六號)	電氣瓦斯稅法（政府提出）
(第二七號)	廣告稅法（政府提出）
(第二八號)	馬券稅法案（政府提出）
(第二九號)	印紙稅法中改正法律案（政府提出）
(第三〇號)	臨時利得稅法中改正法律案（政府提出）
(第三一號)	特別法人稅法中改正法律案（政府提出）
(第三二號)	營業稅法中改正法律案（政府提出）
(第三三號)	臨時租稅設置法中改正法律案（政府提出）
(第三四號)	國庫出納金鑄數計算法中改正法律案（政府提出）
(第三五號)	戰時災害國稅減免法（政府提出）
所得稅等	日滿二重課稅防止三關
スル法律案（政府提出）	(第三六號)
地方分與稅法中改正法律案（政府提出）	(第三七號)

稅收入ニ付キマシテハ全ク困難ノ事情ニ附ルコトハ數學的ニ明瞭ニナツテ居ルノデアリマス、即チ稅制改正ノ當時ノ東京市ノ財政ニ及ボシタ影響ヲ。數學的ニ極ク簡略ニ申上ゲテ見マスナラバ、失ヒマシタ財源ハ所得稅附加稅ニ於テ約二千五百万圓、ソレカラ區費ニ屬スル市稅デ失ヒマシタモノガ一千萬圓、總計財源ヲ失フコト三千五百万圓、之ニ對シテ受ケ得ラルルヤウニナリマシタ歲入ノ財源トナルベキモノハ市民稅九百萬圓、ソレカラ國民學校ノ教員俸給ヲ區費ノ方ニ移管スル爲ニ市ノ負擔ノ減額シタモノガ一千四百万圓、ソレニ分與稅トシテ受取ル額ガ二百万圓、合計二千五百万圓、彼ト此レトヲ對比致シマスルト、丁度一千万圓ノ財源ヲ失ツテ居ルノデアリマス、之ニ加ヘマシテ歲出ノ方ニ於キマシテハ區ニ屬スル經費ハ勿論、一般市費ニ於キマシテモ、或ハ軍事援護ノ經費、是ハ可ナリニ厖大デアリマス、ソレカラ防空費、是亦非常ナ巨額ニ達スルノデアリマシテ、更ニ最近ニナリマスト生活必需品ノ配給機構ノ各種ノ改善ガ行ハレマシテ、之ニ伴フ經費トカ、時局下益々支出ノ增加ヲ見ツツアル現狀デアリマシテ、是等ノ財政事情ニ對スル財政力ト云フモノハ洵ニ寒心ニ堪ヘザル事情ニ陥ツテ居ルノデアリマス、今日カラ之ニ對策ヲ講ズルノデナケレバ、明年度以降直チニ此ノ事情ハ非常ニ急迫シタ事情ニナツテ現ハスルガ、是等大都市ノ財政ノ現狀ヲ十分御考慮下サイマスルナラバ、此ノ點ニ付テ具體的ニ政府ノ御所信ヲ承リマシテ、大都市

○小林(予)政府委員 大都市ニ於キマスル時局關係ノ經費等ガ非常ニ増額ヲ致シマシテ、財政ノ經理ニ非常ニ困難ヲ感ズルト共ニ、稅制改革ニ依リマシテ從來ヨリハ稅收入ノ彈力性ヲ失ツタヤウナ氣ガスル、斯ウ云フヤウナ御意見デアリマシクガ、時局費ガ非常ニ増嵩ラシテ參リマシタコトハ御指摘ノ通リデアリマス、此ノ時局費ハ、一面ニ於キマシテハ平常ノ他ノ經費ト振替ヘマシテ、サウシテ市ノ財政ヲ戰時體制ニ持ツテ行ク、斯ウ云フ行キ方ガ第一段ノ方法デゴザイマシテ、之ニ付テハ從來ヨリ其ノ方針デ監督ヲ致シテ居ル譯デアリマスガ、尙ホ從來ノ經費ト振替ヘルコトガ困難デ、ドウシテモ増嵩スル、斯ウ云フモノニ對シマシテハ、政府ト致シマシテハ、負擔區分ノ點デ常ニ當該團體ニ負擔ノ過重ヲ來サシメマセヌヤウニ努メ居ル譯デゴザイマス、其ノ一例ヲ申シマスレバ、先程御話ニモゴザイマシタガ、防空ノ經費デゴザイマス、是ハ先般防空法ヲ改正致シマシテ、國費地方費ノ負擔區分ニ關スル點ヲ從來ヨリモ餘程明瞭ニスルコトヲ得タノデアリマス、具體的ニ申上ゲテ見マスレバ、防空ノ監視及び通信ニ關スル經費、斯ウ云ウモノハ全部國庫ノ負擔トスルト云フコトニ改正ヲ見タ譯デアリマス、尙ホ警防團ノ出動ニ關スル防空實施ニ關スル經費等ニ付キマシテモ國庫カラ補助ヲスル、斯ウ云フ方針ノ下ニ、之ニ要ニ存ジマス、先ヅ此ノ點ヲ一つ御伺ヒ致シマス

上ヲ致シテアルヤウナ次第デゴザイマス、尙ホ稅收入ノ問題デゴザイマスガ、從來東京市ト致シマシテ、是ハ他ノ大都市ニモ通ズル問題デゴザイマスガ、所得稅ノ附加稅ガ非常ニ大宗ヲ成シテ大キナ稅收入ニアツタ、此ノ所得稅ノ附加稅ガ失ハレマシテ、之ニ代ルモノガナナイ爲ニ非常ニ財政的ニ壓迫ヲ感ズルト云フ御話デアリマスガ、御承知ノ通り先般ノ稅制ノ根本的改革ニ於キマシテ、地方稅ハ大體物稅ヲ以て是方體系ヲ整ヘルコトニ相成リマシテ、所得稅ノ附加稅ハ廢止ヲ致シタノデアリマス、併シナガラ此ノ人稅ノ廢止デゴザイマスルガ、直接的ニハ所得稅附加稅ヲ取りマセヌケレドモ、間接的ニハ是ガ配付稅ノ方ニ、所得稅ト更ニ法人稅等カラ繰入ヲスルト云フコトニ相成ツテ居リマスルノデ、其ノ點ハ間接的ニハ調整セラルルコトニ相成ツテ居ル譯デアリマス、尙ホ東京市ノ事例デゴザイマスルガ、實ハ東京市ハ非常ニ高イ所得稅ノ附加稅ヲ取ツテ居リマシタ、撓カ制限ガ七錢位デアリマシタノヲ、其ノ三倍ノ二十一錢位ヲ取ツテ居ツタヤウナ次第デゴザイマシテ、是レ自體ガ全國的ニ見テ無理ノアル課稅デアツタノデアリマス、只今ノ所昭和十七年度ノ豫算編成ニ當ツテ、東京市ガドウ云フヤウナ狀況ニアルカ云フコトノ御話ヲ先般聽イテ見タノデアリマスルガ、地方稅ト致シマシテハ大體ニ於テ營業稅モ昭和致シマシテ約二千万圓程度ノ増額ニ相成ルヤウニナツテ居ルノデゴザイマス、而シテ尙ホ營業稅ノ附加稅收入ガ市ニ相當額アル

ノデゴザイマスルガ、實ハ營業稅ノ分割ノ問題ガゴザイマシテ、此ノ分割ノ事務ガ實ニ當初豫定シテ居リマシタヨリモ稍、遲レテ居ルノデゴザイマス、稅務署等ガ稅制改正後ノマダ直近ノ年度デゴザイマシテ、事務ニ習熟致シマセヌ點モゴザイマセウシ、又同時ニ家屋ノ賃貸價格ノ調査ヲ致シマシリ、色々ノ事務ガ一遍ニ輻湊致シマシタ爲ニ、稍、分割ノ事務ガ遲レテ居リマシテ、實ハ尙ホ一千万圓程度ノ營業稅ノ附加稅ヲ見込ミ得ルノデアリマスルガ、ソレヲ極メテ内輪ニ見テ居ル、斯ウ云フヤウナ關係モアルノデアリマシテ、此ノ分割ノ事務が促進致シマスルナラバ、相當額ノ營業稅附加稅ヲ收入スルコトガ出來ル、斯ウ云フヤウナ現狀ニ相成ツテ居ルノデアリマス、隨ビマシテ大體ニ於テ目下ノ所ドウニカ十七年度ニ於キマシテハ稅收入ト歲出トガ「マッチ」ヲ致シテ居ルノデアリマス、尙ホ今後ノ追加分等ニ付キマシテモ、是等ノ分割事務ノ進捗ト共ニ、相當ノ營業稅附加稅ノ收入ヲ見込ミ得ルモノト考ヘテ居リマス、尙ホ配付稅ノ問題デゴザイマスルガ、東京市ノヤウナ所ハヤハリ新稅收入ガ相當多額ニゴザイマシテ、其ノ制限ヲ受ケマスル結果第ニ種ノ配付額ハ參ラナイノデアリマスルガ、第二種ノ制限額ガ更ニ又人口割デ参リマスルノデ、配付稅ハ先程御話ノヤウニ二百數十万圓參ツタノデアリマスガ、此ノ額ガドウナルカト云フ御尋ネデゴザイマス、御手許ニ差上ゲテアリマス資料デ大體御分リノヤウニ、配付稅總額ハ前年度昭和十六年度ニ比ベマシテ約一億三千万圓ノ増額ヲ見テ居ルノデアリマス、是ガヤハリ大都市ノ配付稅自體ノ總額ノ方ニモ響イテ參リマスル

ノデ、其ノ點ニ於テモ相當市ノ方ニ潤ツテ行クノデハナカラウカ、斯様ニ考ヘラルルノデアリマス、要スルニ稅收入ノ方面ニ於キマシテハ、何トカヤリ繰ガ付クヤウニ考ヘラレマスシ、一面ニ於キマシテ負擔區分ノ是正、負擔區分ノ確立ト云フコトト相俟チマシテ、配付稅ノ増額ヲモ考慮シテ參リマスナラバ、サウ御心配ナルヤウナコトハナカラウ、斯様ニ考ヘテ居ル次第アリマス〇豊田(豐)委員 御心配ニナルヤウナコトハナカラウト仰シャルノデアリマスガ、財政ヲ預カツテ居ル方ノ側カラ致シマスルト、現狀デハドウシテモイカヌ點ガアル狀況ニアルノデゴザイマシテ、ドレモ是モ之ヲ完全ニ執行致スト云フコトニナリマスルト、御聽取ヲ願ツテ置キタイト思フノデスガ、中々サウ簡単ニ行カヌヤウデアリマス、餘り細カクナリマスカラ他日ノ機會ニ譲リマスガ、獨リ東京市ト云ハズ、大都市ニ於キマス財政事情ハ凡ソ斯ウ云ツタ形ノヤウニ見エマスノデ、ドウゾ十分一ツ御考慮ヲ願ツテ置キマス

ソレカラ稅制改正後ノ國稅ナドニ於キマシテ相當ノ増稅ヲ致シマシタノデ、國稅、地方稅ヲ通ジマスル租稅負擔ノ問題、詰リ兩稅ヲ通ジマスル租稅負擔ノ問題、ソレカラ各稅種間ノ負擔均衡ノ問題、更ニ又各地方團體ノ財政ノ現狀ナドヲ考慮ニ入レマシテ、一ツ地方稅ノ改革ヲ此ノ際オヤリニナツカラ如何カト思ヒマスガ、此ノ儘デ宜シト云フ御見解デアリマスカ、是等ノ點ハ如何ナモノデアリマスカ、内務省ノ方ニ伺

○成田政府委員 只今ノ御尋ねニ御答へ  
ヲ申上ゲマス、只今ノ御質問ハ此ノ際地方  
税全般ニ付テモ改正改善ヲ加ヘル必要ガア  
ルト思フガドウカト云フ趣旨ニ拜聽致シタ  
ノデアリマス、御承知ノヤウニ國税ニ付キ  
マシテハ段々ト改正ガゴザイマスガ、地方  
税ニ付キマシテハ色々シテニ關聯ヲシタ點  
ハ是正致シテ居リマス、地方税自體トシテ  
之ヲ根本的ニドウ變ヘテ行クカト云フコト  
ニ付キマシテハ色々關聯的ニ研究ハ致シテ  
居リマスガ、今直チニ之ヲドウスルト云フ間  
所マデ實ハ參ツテ居ラナイノデアリマシテ、  
御承知ノヤウニ地方税ノ一番大キナ問題  
デアル分與稅、是ノ運用、是ノ配分ヲ如何  
ニスルカト云フコトヲ中心ニ現在考ヘテ居  
ル次第デアリマシテ、其ノ外ノ點ニ付キマ  
シテハ、今尙ホ地租トカ營業稅トカ云フ問  
題ハアリマスケレドモ、是モ只今研究ノ程  
度デマダ直チニドウ云フ風ニ改正スルカト  
云フヤウナ所マデ參ツテ居リマセヌカラ、  
左様御承知ヲ願ヒマス

ガ、今ノヤウナ御考ヘデアリマスナラバ、別途ニ財源供給ノ必要ガナイ、別ニ何モ考ヘテ居ラス、オ前ノ方デハソレデ十分デアリル、斯ウ云フ風ニ御考ヘニナリマスカ、ソレトモ何カ別ニ税制以外ニ財政事情ニ付テ御考ヘニナルコトガアリマセヌカ

○成田政府委員 御答ヘ致シマス、地方ノ財源ノ問題ニ付テ色々御心配ノヤウニ拜承致シタノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテモハ、私共ト致シマシテモ十分ニ考ヘ、又色々方策ヲ練ツテ居ル次第デアリマス、十七年度ノ地方ノ財政ト云フコトヲ取上げテ考ヘテ見マシタ場合ニ、先程同僚カラモ申上ゲマシタヤウニ、配付税ニ付キマシテモ、十六年度ノ三億二千万圓ガ四億五千万圓ニ上ルト云フヤウナ譯デ、相當ニ殖エテ居ルヤウニ思フノデアリマス、其ノ他還付税ニ付キマシテ、又還付税ニ伴フト申シマスカ、三國税ニ對スル附加税其ノ他ニ付キマシテモ、相當自然增收ガアルヤウニ私共ハ見テ居ルノデアリマス、一方地方財政ト致シマス、時局ニ鑑ミマシテ、色々ノ費用ヲ要スル時代デアリマシテ、決シテ十分デアルトカ、何トカト云フコトハ申セナイト田ヒマス、併シナガラ彼此レ考ヘテ見マシタ場合ニ於テ全然ヤツテ行ケナイト云フ程度デハナイ、兎ニ角配付税ガ増額ニナリ、其ノ他ノ地方税ニ於キマシテモ、殖エテ居リマスヤウナ状況デアリマスルカラ、此ノ程度ヲ以テシテドウニカヤツテ行ケルノデアリルト云フ風ニ吾々トシテハ見テ居ル次第ゴザイマス

○豊田(豐)委員 ドウニカヤツテ行ケルノ云フ意向デスガ、ソレハモウ一ツ掘下グテ御研究ヲ願ヒタクト思フ、最近ノ委任事務

ニ伴フ各種ノ經費ダケデモ容易ナラザルモ  
ノガアリマス、現ニ最近ノ實例ヲ一、二申  
シマスルナラバ、生鮮食料品、是ハ分り切  
ツタ目ノ前ノ、此ノ間ノコトデアリマシテ、  
マダ現狀ノコトデアリマスガ、國策トシテ  
行フノデアリマスカラ、誰モ之ニ異存ノア  
ラウ苦ガアリマセヌ、全面的ニ皆協力シテ  
居ルノデアリマスガ、無造作ニ聞エマスル  
此ノ生鮮食料品ヲ確保スルト云フ、タツタ  
ソレダケノコトデモドウ云フコトヲシテ居  
リマスカト言フト、是ハ決シテ農林省ノ惡  
口ヲ申上ゲルノデモ何デモナイノデアリマ  
ス、實情デアリマスガ、生産地ノ價格モ消  
費地ノ真中ノ價格モ一本ニスル、斯ウ云フ  
結果殆ど出シテ來ナイ、出サナケレバ市民  
生活ノ確保が出來ナイ、已ムヲ得ナイカラ  
結局入レル算段ヲシナケレバナラヌ、入レ  
ルト云フコトハ詰リ其ノ間ニ口錢モ出シテ  
ヤラナケレバナラヌ、運賃モ出シテヤラナ  
ケレバイケナイ、一切ノ經費ヲ總テ當事者  
ガ之ヲ持ツテ、入レテ行カナケレバナラヌ、  
斯ウ云フ結果、一寸シタ野菜ニ手ヲ入レタ  
ダケデモ百万圓位掛カル、魚ハ別デアリマ  
ス、ソレカラ最近ハ何モノ彼モ切符制度ニナ  
ツテ居リマス、切符制度ト簡單ニ申シマス  
ト如何ニモ何デモナイヤウデアリマスガ、  
此ノ切符制度其ノモノヲ作ル經費ソレカラ  
區、町會、隣組、サウ云フモノヲ勤員シテ  
コトダケデモサウ云フヤウナコトデ、中々  
政府ガ御考ヘニナルヤウニ、ヤル身ニナツ  
テ見ルト簡単ニ行カヌノデアリマス、其ノ  
他ノコトハモウ極力制限シテ、委任事務ニ

付テハ國策デアルカラ缺カシテハイカヌト  
云フノデ、ドウヤラヤツテ居ルノデアル、  
ヤツテ行ツテ居ルノダカラ、ヤツテ行ケル  
ノダ、斯ウ云フヤウナ御見込デ居リマスト、  
大都市ノ戰時下ニ於ケル財政事情ト云フモ  
ノハヤリ切レナイ、是ガ實情ナノデアル、  
モウ一遍一ツ御檢討ヲ煩ハシタイト思ヒマ  
ス

最後ニ大藏省ノ方ニ一つ簡單ナ御答辯ヲ  
御願ヒ致シタイト思ヒマス、ヤハリ地方財  
政ノ歲入ニ關係ノアルコトデアリマスガ、  
法人ノ營業稅附加稅デアリマス、是ノ調定  
ガ非常ニ遲延致シマスル爲ニ、地方財政ノ  
運用ノ上ニ於テ、只今申上ガマシタヤウナ、  
極メテ財政窮屈ノ事情ノ下ニ非常ナ不便ヲ  
感ジテ居ルノデアリマス、是モ各方面トモ  
同様ナノデアリマスガ、一番手近ナ東京市  
ノ實例ヲ取ツテ見マスト、去ル十一月末ニ  
於キマシテ約二千万圓見當ノ營業稅附加稅  
ノ中、東京市ニ入る分ガ約七百万圓程度、  
是ヨリ一寸缺ケルカモ知レマセヌ、七百万  
圓程度ニナツテ居リマスガ、稅務署ノ調定  
ガ非常ニ遅レテ居リマスカラ、ドノ位シ  
カ入ツテ居ナイカ、大體私ノ調ベタ所デハ  
スト、四月カラ十一月マデノ法人營業稅等  
ノ分割狀況ハ、本稅ノ方デ申上ゲマスト、  
イマス、是ハ比較的簡單ニ調定ガ出來ル譯  
デアリマス、ソレカラ分割ヲ要シマスモノ  
ノ中、分割濟ノモノハ五二%位デゴザイマ  
ス、殘リノ三三%程度ノモノガ分割ヲ要シ、  
隨テマダ府縣市町村ノ調定ノ基本ニナラズ  
ニ残ツテ居ル、斯ウ云フ譯デゴザイマス、  
此ノ點事務ノ遲レマシタ理由ニ付キマシテ  
モアリマスノデ、極力之ヲ早メルコトニ依  
ト如切符制度ヲ實施スルニ至ルマデノ經費ト  
云フモノハ、マダスツカリ集ツテ居リマセ  
ヌガ、是ハ厖大ナモノデアル、分リ切ツタ  
ウ云フ調定ノ方法ヲ取ツテ居リマスカ、是  
等ニ付テ一ツ速カニ御運ビヲ願ヒタノノデ  
ツテ地方財政ノ運用ヲ圓滑ニスルト云フ、  
アリマス、更ニ御参考ニ申上ダマスガ、十  
六年度ハ其ノ通リダガ、一體十五年度ハモ  
ツトウマク行ツテ居ルダラウカ、斯ウ云

市ノ實例ニ見マスト、約五百六十萬圓位ノ  
調定額ニナツテ居ルニ拘ラズ、實際收入ハ  
約三百万圓、半分一寸餘計デアリマスガ、  
サウ云フ事情デアリマス、法制的ニ財源ヲ  
喪失シテ居ル上ニ勘定合ツテ錢足ラズ、斯  
ウ云フヤウナ事情ニアリマスノデ、地方  
財政ノ運用上ニ於テ非常ナ不便ヲ感ジテ居  
ルノデアリマスガ、ドウ云フ風ナ調定ヲヤ  
ツテ居ラレルカ、速カニ是ガ對策ヲ講ジテ  
戴キタイ、此ノ點ヲ伺ヒタイト思ヒマス  
○松隈政府委員 只今豊田サンノ御述ベニ  
テリマシタ法人營業稅等ノ分割狀況ガ遲レ  
テ居リマスル爲ニ、地方團體ノ附加稅收入  
ガ取レルベクシテ實際收入ニナラスト云フ  
點ノ御非難ハ洵ニ御尤モデアリマシテ、吾  
々モ非常ニ此ノ點遺憾ニ存ジテ居ル次第デ  
アリマス、昭和十六年度ノ狀況ヲ申上ゲマ  
スト、四月カラ十一月マデノ法人營業稅等  
ノ分割狀況ハ、本稅ノ方デ申上ゲマスト、  
イマス、是ハ比較的簡單ニ調定ガ出來ル譯  
デアリマス、ソレカラ分割ヲ要シマスモノ  
ノ中、分割濟ノモノハ五二%位デゴザイマ  
ス、殘リノ三三%程度ノモノガ分割ヲ要シ、  
隨テマダ府縣市町村ノ調定ノ基本ニナラズ  
ニ残ツテ居ル、斯ウ云フ譯デゴザイマス、  
此ノ點事務ノ遲レマシタ理由ニ付キマシテ  
モアリマスノデ、極力之ヲ早メルコトニ依  
ト如切符制度ヲ實施スルニ至ルマデノ經費ト  
云フモノハ、マダスツカリ集ツテ居リマセ  
ヌガ、是ハ厖大ナモノデアル、分リ切ツタ  
ウ云フ調定ノ方法ヲ取ツテ居リマスカ、是  
等ニ付テ一ツ速カニ御運ビヲ願ヒタノノデ  
ツテ地方財政ノ運用ヲ圓滑ニスルト云フ、  
アリマス、更ニ御参考ニ申上ダマスガ、十  
六年度ハ其ノ通リダガ、一體十五年度ハモ  
ツトウマク行ツテ居ルダラウカ、斯ウ云

暮ニ於キマシテハ、從來モ注意致シテ居ル  
ノデアリマスガ、特ニ各財務局ニ對シ通牒  
ヲ發シマシテ、多額ノ分割ヲ未濟額ヲ存ス  
ル狀況デアツテハ、地方財政ノ運營上至大  
ノ影響ヲ及ボスノデ是ガ促進ヲ圖リ、年度  
内ニハ出來ルダケ未濟ヲ一掃シ得ルヤウニ計  
畫ヲ立テルヤウニト云フコトヲ通牒シテ居  
リマス、サウシマシテ其ノ各月ノ成績モ微  
シマシテ鞭撻スルヤウニ致シテ居リマスノ  
デ、漸次改善サレルコドト存ジテ居リマス  
○伊藤(五)委員 私ハ極ク簡單ニ地方分與  
稅法中改正法律案ニ付テ御尋ネヲ致シマス、  
簡單ニ御質問シマスガ、御答辯ハ成ベク詳  
シク御聽キシタイト思ヒマス  
○伊藤五郎君 先づ第一ハ、此ノ地方分與稅ハ昭和十五  
度カラ施行セラレテ居ルノデアリマスガ、僅カ  
二箇年間ニ斯クノ如ク改正ヲシナケレバナラナ  
カツタ根本ノ理由如何、ソレカラ第二ハ、此  
ノ改訂ノ結果所得稅、法人稅ノ配付稅ハ昭和  
十七年度分ハ、昭和十六年ニ比シテドレダ  
ケ増額ニナルカ、ソレカラ入場稅、遊興飲  
食稅ハ、昭和十七年バ昭和十六年度分ニ比  
シテドレダケ増額ニナルカ、合計ドレダケ  
ノ増額ニナルカ、ソレカラ第三番目ハ、將  
來國稅ノ增稅ヲスルコトハ必至デアルト思  
フノデアリマスガ、其ノ都度此ノ配付稅ノ  
割合ヲヤハリ改正シテ行ク積リデアルカド  
ウカ、或ハ改正ヲシナイデ其ノ儘此ノ割合  
デヤツテ行ク積リデアルカドウカ、之ヲ先  
づ御尋ね致シタイト思ヒマス  
○成田政府委員 最初ノ御質問ハ分與稅ノ  
制度ガ昭和十五年ニ開始サレマシテカラマ  
ダ二年モ經タナイノデアリマスガ、毎年毎  
年變ヘルノハドウ云フ理由デアルカト云フ

御質問デアツタ承ツタノデアリマス、御承知ノヤウニ、本制度ハ昭和十五年度カラ實施サレタノデアリマス、而シテ此ノ制度ノ當時カラ此ノ制度ノ實施ニ付テ改正スペキ點ハ改正シテ行クノダト云フ意味合ノコトヲ、或ハ言ツテ居ラレタノデハナイカト私ハ記憶シテ居リマス、是ハ或ハ私ノ聽キ間違ヒカモ存ジマセヌガ、兎ニ角非常ニ大キナ問題デアリマシテ、慎重ナ調査ニ基イテ立案サレタモノデアリマスルガ、其ノ後實施ノ狀況ヲ見マスルト、ヤハリ實情ニ即セザル點ガアリ、又規定通り行ヒマストソニ不都合ヲ生ズル、其ノ結果ト致シマシテ、此ノ制度ノ期待シテ居リマスル地方財源ノ調整ト云フコトガ、合理的ニ行カナイト云フヤウナコトガアルノデアリマス、而シテ斯ウ云フ點ニ付キマシテハ度々改正ヲスルノモ如何カトハ存ジマスルレドモ、又地方ノ財政ト云フモノヲ考ヘマシタ場合ニ於テ、是ガ適正ニ配分サレ、適正ニ財政ガ調整サレルト云フ意味合カラ致シマシテ、改ムベキハ改メテ行クト云フ方ガヤハリ宜イノデハナイカト云フヤウナ考ヘヲ吾々持ツテ居ルノデアリマシテ、十六年度ニ付アモ改正ヲ致シテ居リマスル理由ハ今申上ゲタ通りアリマス、吾々ノ考ヘテ居リマスルコトハ地方財政ノ適正ナル調整、配付税ノ合理的ナ配分ト云フコトガ期シ得ラレル爲ニハ、度々モ改正シタ方ガ宜イ、斯ウ云フ考ヘ方デ進シテ來テ居ル譯デアリマス、第二、第三ノ點ハ他ノ同僚カラ申上ゲルコトニ致

シタイト思ヒマス

○小林(千)政府委員

ソレデハ便宜私カラ

ヲ來シマス、此ノ四倍ノ額、一千二百三十

八万二千餘圓ト云フモノ、初年度ニ於キマシテハ九百六十七万六千餘圓デアリマスルガ、是ダケノモノガ地方稅カラ減ジマスルノデ、此ノ分ヲ法人稅及ビ所得稅カラ繰入ノ割合ヲ増シマシテ、配付

ノ見込額ヲ大藏當局ト相談ヲ致シマシテ、其ノ額ヲ見テ參リマス、ソレガ平年度ニ於キマシテハ二十億六千七百七万六千五百七十圓、斯ウ云フ數字ニ相成ルノデアリマス、

マシテ、營業稅ノ課稅標準デアリマスル

ノ中カラ、臨時利得稅ノ增稅ニ當リマスル部分ガ引カレマシテ、其ノ結果、營業稅ノ方ニ減收ヲ來ス、斯ウ云フコトニ相成リマスルノデ、之ヲ埋メナケレバナラヌト云フ問題ガアルノデアリマス、即チ純益カラ控除セラレマスル臨時利得稅額ニ營業稅ノ稅率百分ノ一・五ヲ乘ジマスルト、營業稅デ減キハ改メテ行クト云フ方ガヤハリ宜イノデハナイカト云フヤウナ考ヘヲ吾々持ツテ居ルノデアリマシテ、十六年度ニ付アモ改正ヲ致シマシタシ、又十七年度ニ付キマシテモ今回改正ヲ致シタイト考ヘマシテ、提案ヲ致シテ居リマスル理由ハ今申上ゲタ通りアリマス、吾々ノ考ヘテ居リマスルコトハ地方財政ノ適正ナル調整、配付税ノ合理的ナ配分ト云フコトガ期シ得ラレル爲ニハ、度々モ改正シタ方ガ宜イ、斯ウ云フ考ヘ方デ進シテ來テ居ル譯デアリマス、第二、第三ノ點ハ他ノ同僚カラ申上ゲルコトニ致

千餘圓——初年度ニ於キマシテハ二百四十

シタイト思ヒマス

一万九千餘圓デアリマスガ、是ダケノ減少ヲ來シマス、此ノ四倍ノ額、一千二百三十

八万二千餘圓ト云フモノ、初年度ニ於キマシテハ九百六十七万六千餘圓デアリマスルガ、是ダケノモノガ地方稅カラ減ジマスルノデ、此ノ分ヲ法人稅及ビ所得稅カラ繰入マスル繰入ノ割合ヲ増シマシテ、配付

ノ見込額ヲ大藏當局ト相談ヲ致シマシテ、其ノ額ヲ見テ參リマス、ソレガ平年度ニ於

キマシテハ二十億六千七百七万六千五百十

七千八百九十七圓、斯ウ云フ額ガ出テ參ル譯

マシテハ三十・二%ト云フモノヲ平年度

ニ於ケル所得稅及ビ法人稅カラ繰入レマス

マシテ一三・二%ト云フモノヲ平年度

ニ於ケル所得稅及ビ法人稅カラ繰入レマス

マシテ一三・二%ト云フモノヲ平年度

ニ於ケル所得稅及ビ法人稅カラ繰入レマス

マシテ一三・二%ト云フモノヲ平年度

ニ於ケル所得稅及ビ法人稅カラ繰入レマス

マシテ一三・二%ト云フモノヲ平年度

ニ於ケル所得稅及ビ法人稅カラ繰入レマス

一万九千餘圓デアリマスガ、是ダケノ減少ヲ來シマス、此ノ四倍ノ額、一千二百三十

八万二千餘圓ト云フモノ、初年度ニ於キマシテハ九百六十七万六千餘圓デアリマスルガ、是ダケノモノガ地方稅カラ減ジマスルノデ、此ノ分ヲ法人稅及ビ所得稅カラ繰入マスル繰入ノ割合ヲ増シマシテ、配付

ノ見込額ヲ大藏當局ト相談ヲ致シマシテ、其ノ額ヲ見テ參リマス、ソレガ平年度ニ於

キマシテハ二十億六千七百七万六千五百十

七千八百九十七圓、斯ウ云フ額ガ出テ參ル譯

マシテハ三十・二%ト云フモノヲ平年度

ニ於ケル所得稅及ビ法人稅カラ繰入レマス

マシテ一三・二%ト云フモノヲ平年度

ニ於ケル所得稅及ビ法人稅カラ繰入レマス

入見込額ガ一千四十五万二千餘圓、前年度  
ヨリハ五十五万七千餘圓減ツテ居リマスル  
ガ、遊興飲食税ニ於キマシテ七千七百五十  
七万四千餘圓デアリマスルカラ、前年度ニ  
ト相成リマスノデ、結局入場税、遊興飲食  
税ノ増加分ハ前年度ニ比ベマシテ三千七十  
五万餘圓ト相成ル譯デアリマス、合計致シ  
マシテ昭和十七年度ハ四億五千二百六十餘  
万圓、是ハ前年度ノ三億二千六万餘圓ニ比  
ベマシテ一億三千二百五十七万七千餘圓ノ  
増加、斯ウ云フ風ニ相成ル次第デアリマス  
ソレカラ最後ニ、之ヲ毎年度ト申シマス  
ルカ、將來屢國稅ノ増稅ガアルノデハナイ  
カ、其ノ都度斯ウ云フ工合ニ分與稅ノ改正  
ヲヤツテ行クカ、何カソコニ「スライデング」  
式ニ一定ノ位置デモ決メテ置ク方法ハナイ  
カト云フ御趣旨ノ御尋ネカト存ジマスガ、  
建テ方ガ從來ノ增稅ナカリシ場合ニ考へラ  
レマスル國稅收入見込額ニ對シテ現行ノ率  
ヲ掛ケマシタ額ヲ確保スル、斯ウ云フコト  
ニ相成リマズルノデ、其ノ額ヲ法定スルコ  
トハ如何カト存ゼラレマスルシ、他ニ色々  
戰時利得稅ノヤウナ關係モゴザイマスノデ、  
色々ナ關係ヲ複雜ニ見込ンデ居リマスカラ、  
其ノ都度改正ヲ致シテ行クヨリ仕方ガナイン  
デヤナイカト存ジマス

リ或ハ國庫ヨリノ支辨ガナイ爲ニ、御當局  
デ御考ヘ以上ニ地方ニ於テハ目ニ見エヌ所  
デ多額ノ經費ガ掛ル、而モソレヲ調達スルト  
云ヒマスク「カバーラ」スル爲ニ大都市ニ於テ  
モ非常ニ工面シテ居ルノダ、斯ウ云フ事情モ  
同ヒマシテ、六大都市其ノ他ニ於テヘ、單ニ東  
京市ノミナラズ他ノ都市ニ於テモ其ノ事情モ  
ハ同様ニ私モ考ヘルノデアリマス、尙ホ六大都  
市ノミナラズ、ソレハ大ナリ小ナリ各地方農  
村ニ於テモ同様ノコトガ私ハ言ヘルト思フノ  
デアリマヘ、就キマシテハ、先づ御伺ヒ致シ  
タイノハ、此ノ事變以來、事變ニ關聯シテ、事變ナカ  
要スル地方ノ經費ト云フモノハドノ位年々  
増加シツツアルカト云フコトノ大凡ソノ見  
當ナリ、數字ヲ御伺ヒ致シタイノデアリマ  
ス、而シテ其ノ事變ニ關聯シテ、事變ナカ  
リシナラバ、サウ云フ費用ハ地方ニ於テ餘  
リ必要デナイデアラウト思ハレルヤウナ費  
用ガ植エテ參リマスレバ、其ノ植エテ參リ  
マシタ經費ニ對シテハ如何ナル財源、如何  
ナルモノデソレヲ「カバーラ」シツツアルカ、  
ソレヲ支辨シツツアルカ、其ノ狀況ヲ御伺  
ヒ致シタインデアリマス、尙ホ之ニ付テ、  
是ハ私ガ今初メテ申スノデハアリマセヌガ  
中央ニ於ケル稅制改革ト同時ニ、地方稅制  
ニ於テモ根本的ノ改革ヲ行ハレマシテ、大  
體ノ趣旨、ヤリ方ニ付テハ私達モ當時ヨリ  
ナカラウト私ハ思フノデアリマスガ、同僚  
シテ、其ノ運用ガ適正ニ參リマスナラバ、  
地方稅制ニ於テハ改正後僅カ三、四年ノ今  
日ニ於テ、サウ根本的ナ改革ノ必要モ實ハ  
シテ、其ノ運用ガ適正ニ參リマスナラバ、  
ノ豐田君ノ御意見ヲ伺ツテ居リマスト、是  
等ノ點ニ付テモ私達ガ唯茲デ考ヘルヤウデ  
ナクテ、實際ノ地方ノ行政、地方ノ財政ノ

體驗上カラ見テモ、此處ニ餘程再検討スベ  
キ餘地ガアルヤウナコトモ伺ツタノデアリ  
マスルガ、ソレニ付キマシテハ少クトモサ  
ウ云フ事情ナレバ、最初ニ考ヘラレタ其ノ  
改革案ガイケナカツタノデアルカ、或ハ趣  
旨ハ良イ、改革ノ案ハ良イガ、其ノ運用ガ  
旨ク行ツテ居ナカツタノデアルカ、何レニシ  
テモ私達ハ此ノ改正以來僅カ四、五年ニシ  
カナラヌ今日ニ於テ、地方稅制ノ根本的ノ  
改正ヲ要スルト云フ一部ノ、殊ニ權威アル  
豊田君ノサウ云ツタ意味ノ御意見ヲ伺ブ  
トニ付テハ、私達ハ或ル意味ニ於テ稍、恐縮  
スルヤウナ次第デアリマス、就キマシテハ  
私ハソレ等ニ付テ根本的ノコトヲ今申上ゲ  
テ議論ヲスルノデアリマセヌシ、申上ゲ  
ル材料モ知識モアリマセヌガ、私ガ極ク常  
識的ニ考ヘテ居リマスルノハ、サウ云フヤ  
ウニ今此ノ大東亞戰爭ノ遂行上ニ於テ、地  
方ノ財政ガ或ル意味ニ於テ非常ニ支障ヲ來  
シ、困ルヤウナ點ガアリ、而モソレガ時局  
ニ關スル經費ガ重ナツテ來テ、ソレノ支辨  
ニ困ルト云フノデアレバ、之ニ付テハ私ハ  
前カラモ——單ニ此ノ事變ノミナラズ、事  
變ガナクテモ其ノ點ハ實ハ心配デ、或ル意  
味ニ於テ畫龍點睛ヲ缺イタト思フノハ、即  
チ國費ト地方費トノ負擔區分ニ付テノ問題  
デアル、當時此ノ問題ヲ根本的ニ解決セナ  
ケレバ、地方稅制ガ形ハ整ツテ制度トシテ  
ヲ執行シナクチヤナラスト云フコトニナレ  
バ、此ノ委任事務ニ要スル經費ト云フモノ  
ニ付テソレヲ支辨スベキ途ガ確立シテ居ナ  
ケレバ、纏テハ此ノ一角ヨリ地方財政ト云

ノガ茲ニ來ルト云フコトヲ當時ヨリ私ハ憂  
ヘテ居ツタノデアリマス、隨テ當時ヨリ此  
ノ負擔區分ノコトニ付キマシテハ、之ヲ寧  
ニ於テ、其ノ經費ノ調達ト言ヒマスカ、支  
口法律ヲ以テ、單行法デモ拵ヘテ、國ノ行  
政事務ヲ地方團體ガ委任ヲ受ケテヤル場合  
ニ付キマシテハ、之ヲ明確ニ致シマシテ、  
將來是ガ爲ニ地方ノ財政が過當ニ苦シムヤ  
ウナコトノナイヤウニシタイ、斯ウ云フ考  
ヘヲ持チ、御願シテ居ツタノデアリマスル  
ガ、當時稅制改革ニ於テハ、其ノ意見ハ容  
レラレズ、唯一部警察費ノ負擔ノ割合デア  
ルトカ、或ハ今ノ國民學校ノ教員俸給ノ問  
題ナドハ法律デ出來タ、最近防空法ニ於テ  
其ノ點ハ稍明確ニナツテ來マシタケレド  
モ、是等ハ一、二ノモノデアツテ、他ノ多  
クノモノニ付キマシテハ、依然トシテ此ノ  
點ガ明確デナイ、當時政府ニ於キマシテハ、  
將來國ヨリ地方ニサウ云フ事務ヲ委任スル  
場合ニ於テハ、成ベク其ノ財源ヲ與ヘルカ、  
然ラズンバ補助其ノ他ノ方法ニ於テ、其ノ  
經費ハ相當國費ヲ以テシ、之ニ依ツテ地方  
ガ甚ダシキ、負擔ノ過重ヲ感ズルヤウナコ  
トヲシナイヤウナ御趣旨ニ致スト云フヤウ  
ナコトヲ伺ツテ居ツタノデアリマスルガ、  
果シテソレガ實際ニ於テ行ハレテ居ルノデ  
アリマスルカドウカ、殊ニ事變ニ關係致シ  
マシテ要スル地方費ノ負擔ノ増加ト云フモ  
ノモ、ソレハ地方自治體當然ノ事務トシ  
テノ經費ノ負擔ノ増加モアリマセウガ、  
其ノ主ナルモノハ、察スルニ私ハ委任

内務省ニ對シテハ――ト云フヨリモ寧ロ  
政府ト致シマシテ、殊ニ地方團體ヲ監督シ  
指導サレル内務省ニ御願ヒシタインハ、サ  
ウ云フ場合ニ於テ各省ガ區々ニナリマシ  
テ――内務省ニ於テハ如何ナル事務ガ日々  
地方團體ニ委任サレツツアルカ、而モソレ  
ニ要スル經費ト云モノハ如何ナル方法デ  
國ト地方ニ分擔サレツツアルカト云コト  
ニ付テハ、十分ニ監督フサレ、各省聯絡ヲ  
執ツテオヤリニナツテ遺憾ガナイデアラウ  
トハ思ヒマスケレドモ、是等ニ付テハ政府  
ハドウ云フ考ヘヲ持ツテ居ラレルカ、又内  
務省トシテハドウ云フ考ヘヲ持ツテ居ラレ  
ルカ伺ヒタイト同時ニ、私ノ希望ト致シマ  
シテハ、是ハ委任事務ヲ地方團體ニ委託ス  
ル場合ニ於テハ、政府ト致シマシテハ、常ニ  
同一ノ意思ヲ以テ内務省ト聯絡ヲ御執リニ  
ナツテ、御相談ノ上、其ノ委任ノ事務ノ執  
行ニ要スル經費ニ付キマシテハ、其ノ財源  
ナリ國費ノ分擔割合ナリヲ總テ明瞭ニシテ、  
地方團體ニ無理ノナイヤウニ御措置願フヤ  
ウニ特ニ政府トシテモ考ヘナケレバナラヌ  
ト同時ニ、直接地方團體ノ指揮監督、指導  
ニ當ツテ居ラレル内務省ハ、常ニ此ノ點ニ  
留意ヲサレルヤウニ御願ヒシタイト思フノ  
デアリマス、御如才ナイコト思ヒマスガ、  
今マデドウ云フヤウニナツテ居ルカ、又現  
在ニ於テソレノ負擔區分ニ付テドウ云フ考  
ヘヲ持ツテ居ラレルカ、或ハ將來法律ヲ以  
テモ此ノ區分ヲ明カニスルヤウナ制度ヲ確  
立スル御意思ガアルカドウカ、ナケレバ仕  
方ガナイガ、是ハ古イ話デアリマスケレ  
ドモ、私達トシテハ是非一日モ速カニ斯ウ  
云フ制度ヲ確立シテ、サウ云ツタ意味ノ方

○小林(千)政府委嘱

トカ、困ルトカ云フコトノナイヤウニ御取  
計ラヒヲ願ヒタイ、斯ウ思ツテ居ツタノデ  
アリマスカラ、サウ云フ意味デ關聯シテ是  
ダケノコトヲ御尋ネ致スノデアリマス  
尙ホ單行法ヲ以テスル制度ノ確立ト云フ  
コトニ付キマシテ、此ノ委任事務ヲ地方ガ  
ヤル場合ニ於テ、モウ少シ財源モ考ヘテ、  
地方ニ過當ナ負擔ヲ課サナイト云フ御方針  
ヲ執ツテ戴キタイト思フノデアリマスガ、  
此ノ二點ニ付キマシテハ、内務大臣ナリ大  
藏大臣ニモ此ノコトヲ申上ゲテ戴イテ、内  
務大藏兩大臣御協議ノ上、兩大臣カラ適當  
ナ機會ニ之ニ對スル御意見ヲ拜承シ得マス  
レバ非常ニ結構デアルト思ヒマスケレドモ、  
今申上げマシタ點ニ付テ一應内務、大藏、  
兩御當局ノ政府委員ノ御意見ヲ伺ヒタイト  
思ヒマス

ニ明記致シマスルトカ、他ノ適當ノ方法ヲ  
講ズルコトガ必要デアルコトハ申スマデモ  
ナイノデアリマシテ、各省ノ地方行政連絡  
會議ト云フモノガ内務省ニゴザイマスルノ  
デ、サウ云フ會議デモ屢々問題ヲ提出致シ  
マシテ協力ヲ御願ヒシテ居ル次第アリマ  
スルシ、尙ホ其ノ他ノ凡ユル機會ニ此ノコ  
トヲ主張シテ、各方面ノ協力ヲ求メテ居ル  
次第デゴザイマス、其ノ結果——其ノ結果  
ト申シマスルト語弊ガアルノデスガ、國費  
ノ負擔ノ割合ト云フモノガ、昭和十二年年度  
以來非常ニ大キナ増加ヲ示シテ居ルノデア  
リマス、昭和十二年度ニ於キマシテ、負擔  
區分ノ中、國費ノ負擔ニ屬スルモノガ九九  
餘万圓デ、之ヲ指數ニシテ百デ申上ゲマス  
ルト、昭和十六年度ニ於キマシテハ二千六  
十三、約二十倍ニナツテ居リマスカラ、非  
常ニ國費デ負擔スル部分ガ多クナツテ居ル  
ト云フコトハ事實ハナイカト思ヒマス、  
尙ホ現在ノ狀況デ無論満足スペキモノニア  
リマセヌコトハ、地方財政自體ガ非常ニ無  
理ナ狀況ニナツテ居ルコトガ見ラレルノデ  
アリマシテ、殊ニ町村財政等ニ於キマシテ  
ハ、尙ホ十分援助ヲ致サナケレバナラヌコト  
ガ痛感セラレテ居リマスノデ、先程御指摘  
モゴザイマシタガ、防空法ノ改正、或ハ戰  
時扶助法其ノ他ノ凡ユル法律等ニ現ハレテ  
參リマス負擔區分ノ際ニハ、出來ルダケ努  
力ヲ致シマシテ、是ガ區分ノ確立ニ努メテ  
居ル次第アリマス、大要數字等ヲ擧ゲマ  
シタノハ昭和十五年デアリマシテ、其ノ後  
時局ノ進展ニ伴ヒマシテ時局關係ノ經費ガ  
シテ御説明申上ゲタ次第アリマス  
○松隈政府委員 地方分與稅制度ガ出來  
增シテ参リマシタ、又地方職員ノ臨時家族

ツツアリマスルコトハ、只今内務省ノ政府委員カラ述ベラレタ所ニ依ツテモ明カニナツテ居ルト思ヒマス、是ガ財源ノ調達ヲ如何ニスルカノ問題デアリマスガ、其ノ場合ニ於キマシテ、中央地方ヲ通ズル税制改正後ニ於テハ、地方分與稅ガ有力ナル財源デアルコトハ申上ゲルマデモアリマセヌ、此ノ地方分與稅ニ於キマシテモ、昭和十五年度ニ比シテ十六年度ハ増加致シテ居リマスシ、更ニ十七年度ニ於テハ、是モ只今數字ガ述ベラレマシタヤウニ、一億三千二百萬圓程ノ増額ニ相成ツテ居リマス、尙ほ金額ハ少イノデアリマスガ、還付稅ニ於テモ増加ヲ見テ居リマスシ、地方稅自體ニ付テモ幾分ノ増ハアルヤウデアリマス、併シ是等ヲ以テシテモ尙ホ地方團體ノ財政ハ窮屈困難デアリマスノデ、更ニ他ノ方面ニ付テ考ヘナケレバナラナイノデアリマシテ、其ノ場合ニ於テ國庫補助金ノ問題ガ起リマス、現ニ地方分與稅トシテ相當巨額ノ金額ヲ地方財源ニ廻シテ居リマスルコトハ、是モ只今述べラレタ通りデアリマス、此ノ場合ニ於テ、ドウ云フ程度デ國ガ經費ヲ負擔スベキカト云フコトハ、是ハ中々難カシイ問題デアリマシテ、國ノ委任事務、地方團體ノ固有事務ト云フモノガ理論的ニハ分ケ得ベクシ、實際問題トシテハソコニ限界ヲ付ケルコトガ困難ナノデアリマス、假ニ限界ヲ付ケ得タク致シマシテモ、國庫ノ負擔區分ヲ法律テ年々ノ補助率ト申シマスカ、補助金ヲ興

ノハ額ヲ決メル方ガ宜イカト云ヘバ、現在ニ於キマシテハ、寧ロ中央地方全體ヲ通ジテノ財政事情ニ依ツテ其ノ率ヲ按配シテ行ク方ガ適切デハナイカト思フノデアリマス、國柄ガ違ヒマスカラ直グニ好イ例ニハナラナイノデアリマスケレドモ、「トイツ」ノ如キハ今回ノ大戰爭ヲ遂行スルニ當リマシテ、中央トシテノ増稅ノ外ニ、地方團體戰時上納金ト云フモノヲ徵收シテ居リマス、丁度我ガ國ニ於テ特別會計カラ臨時軍事費ノ方ニ相當ノ繰入額ヲスルノト似タヤウナコトヲ、地方團體カラ上納金ノ形デ中央政府ニ金ヲ繰入レテ居ルノデアリマス、我ガ國ノ現狀ニ於テ地方團體ニ財政ノ餘力ガアツテ、臨時軍事費等ニ繰入レ得ルトハ毛頭考ヘテ居リマセスケレドモ、大東亞戰爭ヲ勝抜クト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、地方ノ財政ノ困難ト云フコトハ勿論之ヲ認メルト致シマシテモ、ヤハリ中央地方ヲ通ジタ國全體ノ財政ノ按分ト云フ所ニ依ツテ、國トシテモ必要ナ財源ヲ確保シ、又地方團體ヲ疲弊困憊サセテハ戰時目的遂行ニ支障ガアリマスカラ、其ノ爲メ財政ノ按配宜シキヲ得ル、是ガ一番大切ナコトト思フノデアリマス、其ノ爲ニハ理論ニ拘泥シテ法律上負擔區分ヲ決メルト云フヤウナコトヨリモ、ヤハリ毎年ノ財政需要ト歳入ノ状況等ヲ勘案シテ按配宜シキヲ得ル現在ノ制度ノ方ガ宜イノデハナイカト思ツテ居リマス、尙ホ是等ノ點ニ付キマシテハ意見モアリマシタノデ、大藏大臣ニ御越

色々御話ガアツタヤウデアリマスガ私ハ平  
素田舎住ヒヲ致シテ居リマスカラ、町村ノ  
立場カラ少シ私ノ見ル所ヲ申述ベテ、内務  
省ノ御意見ヲ伺ツテ見タイ、私ハ實ハ分與  
稅制度——今ノ地方分與稅制度ト云フモノ  
ハ初メカライカヌト思ツテ居タ頭デスカ  
ラ、之ニ對シテ贊成ノ意ヲ申上ゲルコトノ  
出來ナイノハ今日モ變リマセヌ、軀テ是ハ  
行詰ルト初メカラ考ヘテ居ツタ、今地方ノ  
實情ヲ見レバ、モウ行詰ツタ申上ゲテ宜  
シイ、内務省トシテマダソンナコトヲ考ヘ  
テ居ラヌト仰シヤイマスケレドモ、是ハ改  
正ヲ根本的ニ御考ヘ直シニナル方ガ宜シイ  
ト思フ、ドウ云フ譯カト云フト、今町村ニ  
御入リニナレバ御分リノコトアリマスガ、  
今日町村ニハ殆ド——サウ云フコトハ言  
ハナイ方ガ宜イカモ知レマセヌガ、自治ハ  
アリマセヌ、總ニ内務省ガ府縣ニ命令ヲ下  
サレテ、府縣ハ其ノ命令ヲ受ケ繼伊デ町村  
ニ命令ヲ出ス、豫算等モ從來ハ編成ヲ致セ  
バ町村會デ之ヲ議決スルコトガ先デアツタ  
ケレドモ、今日ハ上級官廳ノ指示ニ依ツテ  
豫算ハ出來テ來ルト云フヤウナ狀況デスカ  
ラ、町村會議員ハ實ハ要ラナイヤウナ狀況  
ニナツテ居ル、是デ押通シテオイデニナ  
ルナラ宜シイ、サウデナイト云フナラバ、  
モウ少シ町村ニ獨立性ヲ持タセナケレバ町  
村ノ發達ハ困難ダト思フ、今ハ全ク他力依  
存デ町村ニ自治ハナイ、斯ウ私ハ申上ゲテ  
極言デナイト思フ、段々ニ内務省ノ方カラ  
ハ此ノ分與稅等ヲ御廻シニナツテ、今年ハ  
一億二千万圓御廻シニナルト言ツテ居リマ  
スガ、ソレガ地方町村ニ現ハレタ姿ヲ現實  
ニ見ルナラバ、ヤハリ足ラザル結果ニナツ  
テ來ルダラウト私ハ思ツテ居ル、今時局ニ

必要ナダケヲ辨ズルニモ町村ハ人手ガ足ニナイデ弱ツテ居ル、農業等ノ増強ヲ圖ラニケレバナラヌ、是ガ爲ニハ技術員等ハ大イニ活動ヲ望ムベキ人デアルノニ、技術員ガ役場ノ書記ト選ブ所ガナイ、全ク事務ニ泊ハレテ居ル、害蟲驅除ニ致シマシテモ全ク手ガ出ナイ、指導ノ力ハモウ既ニ滅ビテ居ル、斯ウ云フ状況ニ於テ尙且ツ増産ニ勵ムニ居ル、私ハ農村ノ人々ハ可哀サウダ、イデラシイト思フ、次々ニ事務ハ殖エテ來ル、金ハ廻サレテモ是デハ到底追付カナイ、ソレノミナラズ一朝何カ事ガ起ツテ參リマラバ、此ノ分與税ニ頼ル結果トシテ何エ出来ナイ、是方町村ノ不安ノ因デアル、エウツハ年々町村ニ對スル分與税ノ額トモノガ變ツテ來ル、内務省カラ御覽ニナレバ、一定基準ニ依ツテ割當テ御出しナルカラ、何等間違ハナイ、立派ニ筋ガガルケレドモ、町村ノ當務者トシテハ今年ハ昨年ニ比シテ何程ノ金ガ得ラレルデアラウカト待ツテ居ルト、ウント其ノ配付ガツツテ來ル、或ハ減ルグラウト思ツテ居ルト云フコトダケデアル、是デハ私ハ町村ノ全ク町村ニ裁量ノ餘地ガナイ、内務省カラ輿ヘラレタ餅ヲ其ノ限度ニ於テ食ツテ行クマシタガ、私共ヲ鞭撻スル爲ニ全國ノ町村長カラ原案ヲ通過セシムベシト云フ電報ハレテ居ル際ニ、私ハ其ノ委員ノ一人デアリ何遍參ツタカ分ラナイ、其ノ人達ガ、今日デアル、斯ウ云フ實情ハ數字ヲ申上ゲヌ

モ、地方局長、財政課長ハ能ク御分リノ等  
デアル、アナタ方ノ御耳ニ達シテ居ル筈デ  
アル、然ルニ尙ホ此ノ税制制度ヲ改正スル  
考ヘハチナイト云フ只今ノヤウナシツカリシ  
タ御答ヘガアルト云フコトハ私ハ不思議ニ  
思フ、今直チニ行カヌガ研究中デアルト云  
フナラ尙ホ恕スベシ、左様ナ必要ヲ認メタ  
イトハ頗ル是ハ大膽ナ御答ヘダト聴取ツタ、  
理窟ヲ申上ゲルノデナイガ、地方ノ實情ガ  
能ク左様ナ立場デナイコトヲ物語ツテ居  
ル、之ニ對シテ何カ御諒知ニナツテ居ル地  
方ノ實情ガアルノデアリマセウカ、之ニ對  
スル御意見ハドウカ

○成田政府委員 御答ヘヲ申上ゲマス、色  
ノ點ニ付御尋ネガアツタノデアリマス、  
先ヅ第一ニ現在ノ町村ニ於キマシテハ事務  
ガ非常ニ殖エテ參リマシテ、ソレニ沒頭サレ  
テ居ルト云フコトハ、御話ノ通リデアラウ  
ト思フノデアリマス、之ニ關聯シテ町村ニ對  
スル監督官廳ノ統制ト申シマスカ、監督ト云  
フモノガ非常ニ強ク來テ居ルノデアツテ、  
例ヘバ豫算ニ於テモ獨自ノ立場デ編成スル  
コトハ出來ナイ、殆ド上カラ命ゼラレル豫算  
ノ編成ヲスルヤウナ實情デアルト云フ御話  
デアツタノデアリマス、此ノ豫算ノ編成ニ付  
テノ御話ハ御尤モト思ヒマスガ、是ハ私カ  
ラ申上ゲルマデモナク、御承知ノ如ク今日  
ノ時局ニ於キマシテハ、豫算ガ昔ノヤウナ  
編成ノ仕方ニハ參リマセヌ、物ノ關係デア  
リマストカ、能力ノ關係デアリマストカ、  
或ハ金融關係デ自然縛ラレテ參リマスノデ、  
好ムト好マザルトニ拘ラズ或ル一定ノ粹ノ  
中ニ於テ之ヲ編成シナケレバナラス事情ニ  
アルコトハ御諒承ヲ願ヒタイト存ズルノデ

アリマス、又町村ノ實情ヲ色々御話ニナリマシテ、分與稅ニ付テモ毎年々々ノ分與額ガ變ツテ困ル、或ル時ハ減ツテ來ル、或ル時ハ又殖エテ來ルト云フヤウナコトデハ計畫ガ立タナイト云フ御話デアツタノデアリマス、是モ實情ハ大體左様デアルト思フノデアリマスルガ、サレバト申シマシテ分與額ヲチヤント定額ニ決メテ置クト云フ譯ニモ參リマセヌシ、又吾々ノ考へ方ト致シマシテハ、餘リコニ人爲的ナ色々ナ手心ヲ加ヘテ増減ヲスルト云ラ建前デナク、一定ノ物差ヲ作リマシテ、其ノ物差ニ應ジテ分與稅ヲ配分スルト云フ現在ノ建前ヲ取ツテ居ルノデアリマスカラ、場合ニ依ツテハ減トハ已ムヲ得ナイト考ヘルノデアリマス、勿論其ノ間ニ理由ノアリマスル場合ニ於テハ、斟酌ヲ加ヘルト云フ方法モ現在ノ制度ニゴザイマスガ、大體ノ考へ方トシテハ、餘リ役所ノ方デイデクリ廻スト云フコトヲシナイデ、自然的ニ其ノ算盤ガ得出テ來ルト云フヤウナコトニシテ置クコトガ配分ノ適正ト申シマスカ、合理化ト云フ立場カラ見テ必需要デハナイカ、是ハ私が申上ヌデモ御承知ノ通リダト思ヒマス、サツ云フ積リデヤツテ居リマスノデ、ドウモ毎年ノ分與額ガ動イテ來ルト云フコトハ已ムヲ得ナイト存ジテ居ル次第デアリマス

ソレカラモウ一つ私先程御答ヘヨシマシタ點ニ付テ、何カ地方稅ニ付キマシテ全然改正ヲシナイヤウナ考ヘデ、研究モシナイカト云フヤウニ伺ツクノデアリマス、先程豊田サンノ御質問ニ對シテ御答ヘ致シマシタ趣旨ハ、必ズシモ研究モシナイト云フ意味デ申上ガタノデハゴザイマセヌ、研究ハ

十分致シタイト思ヒマス、唯今直チニ地方稅ニ付テ、例へバ法律自體ヲ變ヘテ増額スルカト云フ風ニ仰シヤラレマスト、ソコマシテ、十七年度ニ付テマア何トカ行クダラウト云フコトハ先程申上ガタ通リデアリマス、或ハ又十八年度ニ付キマシテモ大體行クノデハナイカト云フ、是モ輕イ意味デアリマスガ、サウ云フ見透シヲ持ツテ居リマス、是モ段々ニサウ行力ナクナリマスレバ、勿論是ハ其ノ時ノ必要ニ依ツテ改正ヲ斷行シナケレバナラヌコトニナルダラウト思ヒマス、ソレトモウ一つハ經過年度中デモアリマスノデ、不十分ナガラ今ノ制度ノ運用ヲ見究メテヤリタイト云フヤウナ氣持モアリマシテ、旁、研究シテ行ク、斯ウ云フ氣持デ居リマスカラ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○森(鞆)委員 只今ノ分與稅ノ分與ノ狀況ガ、年々ニ變ツテ町村ガ困ルト申上ガタノハ實情ヲ申上ガタノデス、併シ今ノ制度デハ御取りニナラナケレバナラヌコトハ御話ノ通リデ、私地方局長ノ御意見トチツトモ意ト剩ス所ハ何デアルカト云フト、結局耕地ヲ目掛ケテドンヽ附加稅ヲシテ行クヨリ他ニ途ハナイコトニナル農民ハ少イ反別見ヲ異ニシテ居リマセヌ、サウ云フ關係デアルカラ地方ノ財政ニ伸ビ縮ミノ力が非常ニ少イ、彈力性ガ非常ニ少イ、ソレデヤハリ彈力性ヲ持ツ財源ヲ町村ニ與ヘ、地方ニ與ヘラレル必要方アルノデハナイカ、現ニ市町村長會議ナドニ於テモ只今市町村民稅ニ今ニ少イ、彈力性ガ非常ニ少イ、ソレデヤハリ彈力性ヲ付ケラレテ、自由裁量ノ餘地ヲ與ヘラレタシト云フコトノ決議ヲシテ

内務當局ニ申請ヲ致シテ居ル事情ハアル筈デス、サウ云フ事實ハアル苦ダト思ヒマス、少シク彈力性ヲ付ケラレテ、勤勞所得ノ稅ヲ納メテ居ル人ガアルノデアリマスガ、ソレニ對シテ附加稅ヲ課スルコトハ出來マセヌ、附加稅ノ增加ヲサレテ寧ロ現在泣イテ居ル、サウシテ一面ニ於テハ、勤勞所得ノ稅ヲ納メテ居ル人ガアルノデアリマスガ、ソレニシタヤウニ、此ノ地方稅制ノ根本的ノ改正ガ行ハレル當時カラ非常ナ論議ノ中必トナメ此ノ稅ニ付ケテ貰ヒタトイト云フ要望ノアルコトモ、私承知ヲ致シテ居リマス、就キマシテハ此ノ問題ニ付テ十分ニシタガ、是ハ十五年度カラ行ハレタ稅制改正デアリマシテ、マダ一年ソコヽデアリアルノデス、斯ウ云フモノヲ能ク始末シテ

ナラナイ、アノ時ノヤウニ地租ニ對スル附加稅百分ノ千七百ト云フ風ナ豫算ヲ取ラナルカト云フナイト、此ノ缺陷デ考ヘテ居ラナイ、斯ウ云フ意味デゴザイマシテ、十七年度ニ付テマア何トカ行クダラウト云フコトハ先程申上ガタ通リデアリマス、或ハ又十八年度ニ付キマシテモ大體行クノデハナイカト云フ、是モ輕イ意味デアリマスガ、サウ云フ見透シヲ持ツテ居リマス、是モ段々ニサウ行力ナクナリマスレバ、勿論是ハ其ノ時ノ必要ニ依ツテ改正ヲ断行シナケレバナラヌコトニナルダラウト思ヒマス、ソレトモウ一つハ經過年度中デモアリマスノデ、不十分ナガラ今ノ制度ノ運用ヲ見究メテヤリタイト云フヤウナ氣持モアリマシテ、旁、研究シテ行ク、斯ウ云フ氣持デ居リマスカラ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○成田政府委員 只今ノ御尋ネニ御答ヘ申上ゲテ置キタイト存ジマス、只今ノ御話ハ、市町村ニ於ケル財源ノ不足ノ現状ニ鑑ミ、市町村民稅ノ如キモノヲモツト餘計ニ取ラセル、附加稅ニ付テ考ヘルト云フヤウナコトヲシナケレバイタナイデハナイカト云フヤウナ御趣旨ト拜聽致シタノデアリマス、御話ノヤウニ市町村ニ於ケル財政ノ狀況ガ、必ラズシモ十分デナイト云フコトハ吾々モ認メザルヲ得ナイト考ヘテ居ル次第デアリマス、ソコデ先づ市町村民稅デナイ學校ノ先生ガアル、一面ニ於テハ三百圓、四百圓ノ收入ヲ得ル人デアツテモ、家族ノ關係ノ如何ニ依ツテハ一厘ノ稅金モ納メテ居ル人ガアルノデアリマスガ、ソレニシタヤウニ、此ノ地方稅制ノ根本的ノ改正ガ行ハレル當時カラ非常ナ論議ノ中必トナメ此ノ稅ニ付ケテ貰ヒタトイト云フ要望ノアルコトモ、私承知ヲ致シテ居リマス、就キマシテハ此ノ問題ニ付テ十分ニシタガ、是ハ十五年度カラ行ハレタ稅制改正デアリマシテ、マダ一年ソコヽデアリアルノデス、斯ウ云フモノヲ能ク始末シテ

居リマス、殊ニ其ノ當時内務省ト致シマシテハ戸數割ノ弊害モ考ヘマシテ、市町村民稅ト云フモノガサウ云フ弊害ニ陥ラナイヤウニ、又之ニ依ツテ財源ヲ付與スル趣旨テハナイト云フ、大方針ヲ掲ゲテ居ルノデアリマスカラ、其ノ點ハ一ツ十分ニ御諒承置キ願ヒタイト考ヘルノデアリマス、又附加稅ニ付キマシテモ、現在百分ノ二百ト云フモノヲ標準ニ致シマシテ、ソレハドンナニ上ゲテモ構ハヌト云フコトハ甚ダオカシイデソレモ御尤モグラウト思ヒマス、唯此ノ點ニ付キマシテハ從來ノ慣行ト云ヒマスカ、ハナイカト云フヤウニモ伺ヒマシタガ、今昔ノヤウナヒドイコトハアリマセヌガ、今尙ホ百分ノ二百ト云フ標準カラ見マシテ、從來行ハレテ居リマシタ點モ考ヘマシテ、コトモ存ジテ居リマス、併シ是モ先刻申上ゲタコトト同ジデアリマスガ、鬼ニ角十七年度ニ於キマシテハドウニカスウニカ行クヤウナ現狀カラ考ヘマシテ、全般ニ付テモウ少シ研究ヲサセテ戴キタイ、斯様ニ此ノ際トシテハ御答ヘヲ申上ガルヨリ外致シ方ガナイト考ヘテ居リマス

シテアル數字ヲ先ヅ押ヘテ、サウシテ國稅ノ方ニ於テハ、事變或ハ戰爭ノ爲ニ必要ナ隨テ地方費ノ方ニ於テハ、配付稅トシテハ何等ノ増減ヲセヌヤウニスルト云フ建前ヲ持ツテ居ラレルヤウニ伺ツタノデスガ、ソレハ今回ナリ先ノ增稅ニ於テモ、其ノ增稅ノ必要トシタ趣旨カラ云ヒ、性質カラ云ツテ、原則トシテハ至極當然ヲコトデ、何等私ガ異議ヲ挾ム譯デハアリマセヌ、ソレハ當然ノコト思ヒマス、併シ唯單ニ最初ノ稅制改革ノ際ノ時ニ豫定シテ居ラレタ年々ノ地方費トシテ、此ノ配付稅カラ受ケルベシ稅收ノ金額ヲ目途ニシテ、ソレサヘ保障すべ宜イト云フ考ヘデ行ケバ、年々所謂自然增收トシテ入ルベキモノガ何處へ行クカト云フヤウナ疑問ガ起ル譯デ、特ニ戰時ノ爲ニ要スル增稅ノ分ハ、當然ゾレハ國ニ利用サレ、ソレガ軍事費ニ繰入レラレルコトハ至極尤モデアリマスガ、サウ云フ意味デナクシテ、年々課稅物體ガ殖エル爲ニ、所謂自然增收トナツテ居ル部分ガアル、ソレハヤハリ地方費トシテモ増額シテ行ク、ソレガ現ハレテ年々一億幾ラ殖エテ來ルノガ其ノ分ト見テモ宜イト私ハ思ヒマスガ、ソレハ當然ノコトデアル、先程主稅局長ハ「ドイツ」ノ例ヲ御示シニナツテ吾々ニ教ヘテ吳レマシタガ、ソレハ國柄ガ違フコトモアリマセウシ、我ガ國デモサウ云フコトマデ出来ルヤウニ、地方ノ財政ガ裕カデアツテ、アリ餘ツテ來レバ、當然サウスルコトモアリデセウガ、現在ノ地方ノ財政カラ申上ゲマスレバ、私ノ見ル所デハ地方ノ方デハ財

源ハ制限サレテ居ル、<sup>移源モ決メテレテ居</sup>而モ國ニ於テハ自由ニ必要ニ應ジテ起債モ出來公債モ發行出來ル、併シ現在ニ於テ地方債ノ起債ト云フモノハ、是ハ極メテ制限サレテ居ツテ、所謂通常ノ財政需要ノ不足ヲ補フト云フヤウナ意味ニ於テ赤字公債ト云フモノハ恐らく地方ニ對シテハ御認メニナルマイト思フ、而モ先程伺ツテ居リマスト、此ノ事變、戰爭ノ爲ニ地方費ノ増加シタ數字ト云フモノハ莫大ナモノデアル、之ニ付テハ國カラ補助セラレ、或ハ國ガ分擔サレテ居ルモノモアリマセウガ、何レニシテモ絶對額ニ於テ地方團體ノ負擔トナリ、斯クテ時局ニ關スル經費ガ非常ニ殖エタト云フコトハ事實ニアリマス、而シテ之ヲ賄フ爲ニ地方トシテハ餘程苦シソニ居ルト云フコトハ、蔽フベカラザル事實ニアリマス、ソレニ付テ單ニ私ノ知ツテ居ル一、二ノ町村ノ例ヲ申シマシテモ、所謂租稅ト云フ名儀ハアリマセヌガ、自由寄附ト云フ名儀デ事實ニ於テハ之ヲ強要サレ、徵收サレテ居ルト云フ意味カラ云ヘバ、公租ト殆ド變リノナイ負擔ガヤハリ殖エテ來居ル、私ハソレ等ノ細カイコトハ申シマセヌガ、サウ云フモノモアルノデアリマシテ、地方ノ財政ニ餘裕ノナクナツテ來居ルコトハ事實ニアル、ソレニ付テ主税局長ノ御意見モアリマシタガ、若シ地方ガ財政ニ於テ非常ニ困ツテ居ルト云フ實情ヲ御認メニナルナラバ、配付稅ノ比率改訂ノ場合ニ於テモ、必ズシモ最初ニ豫定サレタ金額ニ拘泥シテソレヲ押へテ行クト云フコトデハナクシテ、地方團體ニ於テヤハリ事變ノ爲ニ要スル經費ヲ支辨シテ行クト云フコトヲ、國ガ軍費支辨ヲスルト同ジ意味ニ於テ、大戰爭ヲ遂行スル爲ニ

テ、銃後ノ子弟、遺族、家族ト云フモノヲ保護シ固メテ行ク、サウ云フ意味カラ云ヘバ、國ニ於テ軍費ト同ジ意味ニ於テ、地方ニ於テモソレニ相當スペキ費用ガアルト私ハ思フ、サウ云フ部分ニ對シテ、ヤハリ多少配付稅ニ於テ斟酌サレルコトモ、是ハ其ノ性質上大シテ不合理ノコトデハナイ、地方ノ財政ガ實際窮乏シテ來ルナラバ、サウ云フ意味ヲ加味サレテ、配付稅モ率ヲ定メル場合ニ於テ斟酌サレテモ、私ハ決シテ増稅ノ趣旨ニ反スルモノデハナイ、私ハ寧ロ其ノ位ノ考へヲ持ツテ居ルモノニアリマス、サウ云フ意味デ配付稅ヲ地方ニ分割スル場合ニ於テ從來ノ數字ニ拘泥シテ、地方ヲ餘リイデメナイヤウニシテ貰ヒタイト云フコトヲ一言附加ヘテ置キマス

利子ガ殖エル、貯金ノ増加ニ依ツテ銀行預  
金利子ニ對スル所得稅ガ殖エタト云フヤウ  
ナモノハ、一應見込マレテ居ルノデアリマ  
ス、其ノ意味ニ於テ地方團體ニモ自然增收  
ニ相當スルモノハ行ツテ居ル、唯其ノノ上、  
率マデ上ガルト云フコトニ致シマスト、今  
回臨時軍事費ニ入レル目的ヲ以テ増徵シタ  
部分ノ一部ガ地方團體ニ行ク、其ノコトハ  
如何カ、斯ウ云フコトデ取止メテ居ルノデ  
アリマス、勿論戰費ノ觀念ハ、御示シノ如  
ク臨時軍事費ニ繰入レタモノノミト云フヤ  
ウニ狹義ニ解スペキカ、或ハ現在ハ總力戰  
デアルカラ、地方團體ニモ必要ナ經費ハ、  
或ル意味カラ見レバ軍費ト同様ノモノト云  
フコトガ言ヘルコトハ勿論デアリマスガ、  
國ノ財政ノ建方ト致シマシテハ狹義ノ意味  
ニ取リマシテ、今回ノ增收分ハ擧ゲテ臨時  
軍事費ニ入レテ居ル次第デアリマス、尙ホ  
此ノ率ヲ決メテ實行致シマシテ、決算ニ於  
テ豫算ニ比シマシテ增加致シマスル部分ガ  
アリマスレバ、其ノ部分モヤハリ地方團體  
ノ財源トナル譯デアリマスカラ、地方團體  
ガ全然自然增收ニ對シテ樂シミガナイト、  
斯ウ云フ譯デハナイコトハモウ御承知ノ通  
リデアリマス

○勝委員長 本日ハ午後ハ委員室ノ都合デ  
開會出來マセヌカラ、是デ散會致シマシテ、  
明日午前十時カラ始メマス、今日ハ是ニテ  
散會致シマス

午後零時二十一分散會

衆議院所得稅法中改正法律案外  
十七件委員會議錄第三回中正誤

九	一	二	正
一	二	三	誤
岡本寛太郎	岡本寛太郎	君	